

令和5年度 出前授業

9月13日(水)1、2年生を対象に、出前授業が実施されました。今年度は16分野の講座を開き、14名の先生方に授業を行っていただきました。

生徒はそれぞれ興味のある分野に分かれ、50分の講義を2つ受講しました。自分の進路を意識し、熱心に授業に参加する姿が見られました。





自分が気になっていた学部、学科の話が聞けて、より目標が鮮明になった。自分が想像していた分野だけでなく、他にも同じ学部の中でたくさんの分野があって、より自分に合ったものが選べそうだったと思った。

大学での教育は課題が出される高校と違い、自分で内容を考えて解決方法を考えるなど自律した個人を目指すものなので、自分でその意識を持たないといけないと感じた。大学は狭く深く、自分の興味のあることを勉強するので、自分が学びたいこと、やりたいこと、将来の夢に繋がるものをきちんと考えて、自分に合った大学の自分に合った学科をしっかり考えないといけないと思った。

自分が望む大学に行くためにも、普段の生活や学習、行事にしっかりと取り組み、いろいろなことに積極的にチャレンジしていきたい。

(1年)

看護の授業では、健康について大切なことを知ることができた。自分の中の健康と周りの人それぞれの健康は違っているから、それを理解してあげることが大切だと知った。まずは、自分自身のプラス面やマイナスの面を知り、マイナスの面をプラスに変えられるようにすることも健康でいられることの1つだと知った。だから、人の意見を尊重し、理解して、人との付き合いを大切にして支援できるような人になりたいと思った。

理学・作業では、ケガをした人、病気の影響で生活に支障がある人が、自分で行動して生活できるようにしていくことだと知った。今、自分達ができていることができない人に対して、基本的動作を自立させていくためにサポートすることが仕事というのは、とても大変そうだった。自助と互助は、自分や周りの人を共に向上させていけるんだと思った。

(2年)